

## 学長の業績評価

令和2年11月12日

公立大学法人前橋工科大学学長選考会議

公立大学法人前橋工科大学学長選考会議は、下記のとおり星和彦学長の任期中の業績評価を実施したので、その結果を公表する。

### 記

#### 1 業績評価の方法

星和彦学長の2期目（2年）の任期のうち、1年5月が経過した時点での「中期目標及び中期計画を達成するための方策」に対する自己評価書を評価の対象とし、学長選考会議にてヒアリングを行った。

#### 2 評価結果

「中期目標及び中期計画を達成するための方策」について進捗状況を確認したところ、大学が直面する課題に積極的に取り組み、前橋工科大学の学長として職責を十分に果たしていると評価する。

一方で、以下の3点については、学長選考会議にて取組の遅れを指摘する意見、改善を要望する意見があったことから、今後の発展的な取組を期待する。

- ・大学院については内部進学率が低く、入学定員が確保できていない。内部進学率の向上及び入学定員確保のため、大学院の教育研究の質向上、魅力向上に係る取組が必要である。
- ・教員人事評価について確実な実施は評価できるが、現在の評価制度では教員の資質能力の改善までにはいたっていない。本学に相応しい教員を適切に評価するとともに教員の資質能力の改善を実現する制度の構築が必要である。
- ・産業界における本学の認知度は決して高くない。大学のブランド力向上、産業界との更なる連携強化に向け、広報活動の充実が必要である。

### 3 評価のスケジュール

令和2年8月30日 自己評価書の提出

令和2年9月10日 学長選考会議での面接

令和2年9月10日～10月30日 評価意見のとりまとめ

令和2年11月12日 業績評価の決定

#### ○学長選考会議委員

議長 櫻井 裕之（経営審議会委員）

委員 岡田 敦志（経営審議会委員）

委員 高橋 秀一（経営審議会委員）

委員 小林 清（教育研究審議会委員）

委員 田中 恒夫（教育研究審議会委員）

委員 新井 剛（教育研究審議会委員）